

# やまて小児科で周南おもちゃ病院

## 消防車治って笑顔年長児

### ボランティアドクターが治療

故障したおもちゃをボランティアのドクターが修理する、周南おもちゃ病院が23日、浅江一丁目のやまて小児科・アレルギー科2階多目的ホールで開院した。

やまて小児科では年3回、定期開院しているが、コロナ禍のため昨年7月は中止。ドク

ターに直接、修理依頼や相談もあったことから、おもちゃで遊ぶことを楽しみにしている子供たちのため、その後には感染防止対策を行って開院している。

尾崎佳正さん(上島田九丁目)ら8人のドクターが、おそろいのエプロンを着けておもちゃを修理した。

富田晴翔(はると)君(虹ヶ丘幼児学園年長)が持参した大型の消防車は、はしごの部分にホースが絡まって旋回できなくなっており、ドクター4人がかりで治療。一時は入院

(ドクターが持ち帰って治療する)になりそうだったが、無事に完治した。

心配そうに見ていた晴翔君へ、ドクターたちが「入院せずにすんだね」と声をかけると、晴翔君は「クリスマスにサンタさんからもらった大好きなおもちゃ。いつも、遊びたいな」と思っていたから、うれしい」と喜び、早速、試運転して見せた。

定期開院日は、やまて小児科医院 1、7、10月第4土曜10～12時

▼岐山公民館(周南市) 奇数月第3日曜10～12時

▼下松市民交流拠点施設『ほしらんどくだまつ』 3、6、9、

12月第1日曜13時半～15時半。イオンタウン周南の定期開院は休止

中。修理費は無料だが、部品購入の場合は実費となる。(通)



消防車を治療してもらった富田晴翔君(左)